月刊 かわごえ環境ネット 2020

かわごえ環境ネット
20周年　持続可能な地球と川越へ→

2020年10月号 No.168　　https://kawagoekankyo.net

2020 年 10 月 7 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

「アースデイ川越」10 月 11 日（日）

10 月 4 日（日）のアースデイ川越 in 昭和の街 2020 のオンラインワークショップに参加できなかった方。10 月 11 日（日）にも実施します。『「川越の自然」バーチャルツアー』と「見つけてみよう!!みんなのおうちからつながる世界」に参加して、楽しく学びながら SDGs を身近なこととして考えましょう。（詳細 11 面）

「秋のクリーン活動」10 月 17 日（土）

来年の川越まつりに備えて街をきれいにする「秋のクリーン活動」を 10 月 17 日（土）に開催します。事前申込制です。（詳細 12 面）

目次

コラム	かわごえ環境 STYLE（3）最明寺の地域協力 フードパントリー	2
	社会と環境について思うこと ⑷ 生きる目標の「合言葉」は “SDGs” 子どもも老人も未来のために	3
	川越の自然をたずねて（90）三ツ又沼ビオトープ	4
	川越の「宝」をたずねて（16）仙芳仙人塚・本地堂瑠璃薬師殿跡	5
報告	かわごえ環境ネットの活動（1 題）	6
	会員の活動（2 題）	7-8
	理事会・専門委員会（3 題）	8-10
予告	かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事・出展行事（7 題）	11-14
	会員・関係団体の主催・関連行事（6 題）	14-16
	広報委員会からのおしらせ	16-17
	イベントカレンダー（10 月 7 日～12 月 5 日）	18

【コラム】かわごえ環境 STYLE（3）最明寺の地域協力 フードパントリー

最明寺のフードパントリーのようす

川越はお寺の街と言っていいほど数が多く、60 ほどのお寺があります。お寺は本来地域密着で地域に開かれ、市民に親しまれてきた場所でした。近年になって川越のお寺発の動きも少しずつ活発になってきた中、川越市小ケ谷にある「最明寺」の社会環境の取り組みについて紹介します。

最明寺で定期的に行っているのが、困窮家庭に食材提供を実施している市民団体「川越子ども応援パントリー」に本堂の場所提供です。川越子ども応援パントリーは、川越市と連携をとり、市内の困窮家庭にご案内を直接届け、市内のお寺を会場にパントリー活動をしています。

「フードパントリー」とは、市場で余剰となった食品をフードバンク、企業、農家などから譲り受け、食料を必要としている方に無償で配布する活動です。一方で「フードロス」を削減し、他方で困窮家庭の食糧事情を改善する、まさに SDGs の趣旨に沿った活動です。2020 年 3 月、新型コロナウイルス流行拡大により全国一斉休校措置が始まると、困窮家庭からは「食費がもたない」「子どもの世話が一気に増えた」と悲鳴が上がりました。さらに非常事態宣言により企業活動の自粛が始まると、「仕事が減って収入が激減した」などの声も聞かれるようになりました。「川越子ども応援パントリー」では 2020 年 3～4 月初旬にかけ、緊急パントリーを 3 回開催、主にはひとり親で「児童扶養手当」受給家庭を中心に現在 120 家庭、家族構成員総数約 400 名に支援しています。現在は、川越市内の最明寺と本応寺の 2 か寺で交互に毎月 1 回開催しています。

最明寺の千田副住職はこの活動に協力する意義として、「最明寺が関わる活動の全てに共通しているのは、お寺は前提として『地域のためにある施設』ということです。困っている人がいるのであれば手を差し伸べるべきだと思いました。」。

最明寺の前段として、以前から、独自に「おてらおやつクラブ」に参加していたことも注目です。貧困問題に取り組みお寺の社会福祉活動として、お寺のお供え物等を、子どもをサポートする支援団体の協力の下、経済的に困難な状況にある家庭へ「おすそわけ」する活動です。こうした活動を続けていたこともあり、フードパントリーの協力依頼についても「二つ返事で了承しました。」と話します。

最明寺のフードパントリーでは、毎回 100 家庭以上が集まり、お米や野菜、様々な冷凍食品等を提供しています。子どもたちを楽しませようと音楽家がボランティアで音楽演奏することもありました。千田さんは、「お寺は単なる場所貸しではなく、子どもたちにお寺を身近に感じてもらう未来の取り組みでも考えています。」。

単に食材を配る、というだけではなく、「行くことが楽しみになる場」となるように様々な施策を今後も取り込んでいこうと計画をしています。今後はフードパントリー利用家庭中心に子どもの居場所＋学習支援事業の展開にも協力していきます。　（石川真）

【コラム】社会と環境について思うこと（4）
生きる目標の「合言葉」は“SDGs”　子どもも老人も未来のために

＜国連 75 周年の記念の年に＞今年は第二次世界大戦が終わり、国際連合が発足して 75 年。各国首脳が顔をそろえた歴史的な総会が期待されましたが、世界的な新型コロナウイルス問題を抱えて、各国首脳がオンラインを通しての意見表明という、今までにない会議が続いています。顔を突き合わせての丁々発止のやり取りが見られないのは残念です。地球上では異常気象による山林火災にアフリカのバッタ災害、それに加えての新型コロナ対策での経済活動の停滞、失業者の増大、貧富の格差拡大と課題が山積しています。解決への指標としてSDGsを第一にかかげる世界中の指導者の力強い声が聞きたかったものです。しかし、EU が「グリーン・リカバリー」と名付けた SDGs 体現の新コロナ対策を打ち出したと聞きました。しかしわが国では、国連週間の PR も物足りず、SDGs に触れた新聞もわずかで残念でした。

＜新内閣の取り組みは＞この時期にスタートした菅新内閣の方針にも、また、新閣僚の方針にも SDGs について触れた人は一人もいませんでした。5 年前には、ピコ太郎の動画が流れ、啓発パンフも多数配られました。経済界でも、環境に配慮した活動の指標として取り上げ、各地での講演会が続々と開かれました。しかし、安倍内閣では“アベノミクス”の中に入れての肩入れは見られませんでした。続く新しい菅新内閣も前内閣の方針を踏襲し、SDGs については傍観者的な立場をとっているように見られます。

新型コロナ対策が第一ではありますが、その前に政治の理念として掲げる目標としてSDGsを力強く謳ってほしかったと思いました。

＜年少者向けの啓発図書がどんどん＞しかし、小中学生向けに、SDGs 啓発本が相次いで発刊されています。学校の教科にはまだ採用されていませんが、一部の学校の社会科授業で取り上げられているようです。また、いくつかの私立高校の入試試験でSDGsについての質問が出されるようなりました。教育のグローバル化が叫ばれていますが、今までの語学優先の国際派の育成ではなく、SDGs 教育を受けた世界観を持つ若い世代が、10 年後に社会に出るときの変化が楽しみであります。

＜かわごえ環境ネットに倣って市の広報に＞

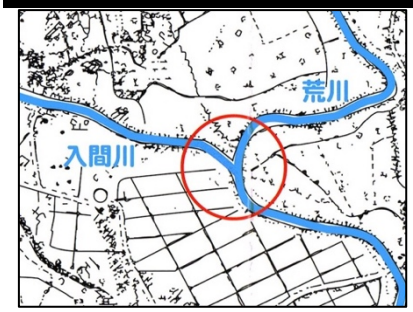
身近な川越市でも、市議会で SDGs への取り組みが質問されて 3 年になりますが、具体的な対策は取られていません。今は、総合政策部門で検討されているようですが、市政全般にかかわる課題だけに、具体的な対策になると難しいところです。しかし、何とか市民の目に触れる形で SDGs の理念を PR する必要があります。とりあえず、SDGs への関心を高める方法として、川越市の広報の表紙に、かわごえ環境ネットの月刊誌のように、SDGs のアイコンを載せることです。「これは何だ？」と市民の話題になるだけでも一歩前進です。

＜理想と現実の乖離＞まず、SDGs については「理想ですね」の第一声が出されます。最初のゴールが「貧困をなくそう」で、第二が「飢餓をゼロに」ですが、貧困撲滅と飢餓救済についての行動は、古来から一揆や革命で度々挑戦されてきましたが、いまだに世界からなくなっていません。この問題はアフリカや中東諸国などの遠い国の問題にとどまりません。わが国でも徳川時代、明治、大正、昭和と、貧困と飢餓にまつわるいろいろな事件がありました。75 年前の敗戦後の復興で、「一億総中流」と言われた時もありましたが、最近は「格差拡大」の声が聞かれ、身近に散見される問題になりました。こども食堂などでの救済では追いつきません。

＜総論と各論は一体＞SDGs で聞かれる声は「そうは言っても」「現実は理想通りにはいきません」という声が必ず出ます。SDGs の 17 の目標は「総論・理想」、169 のターゲットは「各論」。「総論賛成、各論はそうは言っても」と物分かりのよい態度が大敵です。愚直に「SDGs の理想を貫徹しましょうと!」「総論各論一以貫之（いちもってこれをつらぬく）」

（武田侃蔵）

【コラム】川越の自然をたずねて（90）三ツ又沼ビオトープ



明治のころ

現在の様子

三ツ又沼ビオトープの位置

三ツ又沼ビオトープをご存知でしょうか。川越市、上尾市、川島町の境界にあるので見落とされそうな場所です。西には入間川、東には荒川という大河が流れています。その昔、荒川は上尾市浅間山南付近で流路を西に変え、入間川と合流しまさに「三ツ又」になっていました。そのため周辺住民は常に氾濫、洪水に悩まされていました。1932（昭和 7）年ごろから入間川と荒川の合流点を付け替える工事が始まり、1954（昭和 29）年ごろまでに合流点が現在のずっと南の上江橋付近に付け替えられました。昔の合流点にポツンと残ったのが三ツ又沼なのです。

三ツ又沼の周辺は河川敷、田んぼなどで豊かな自然に恵まれています。この自然を守ってほしいという環境 NGO や地域住民の要望で、河川敷内の一部を公有化して国（国土交通省荒川上流事務所）が整備して 2001 年 4 月、三ツ又沼ビオトープがオープンしました（総面積：13ha）。ここは水に恵まれていることから湿地性の生き物が多くみられます。2002 年の調査では植物 236 種、鳥類 53 種、昆虫類 434 種、魚類 18 種、哺乳類 5 種、水生植物 24 種との記録があります。

特徴的なのはハンノキで湿原や沼沢地に生息する高木で、過湿地において森林を形成する数少ない樹木です。ミドリシジミの食草でもありますので、ボランティア活動で植樹もされています。樹木層はヤナギ類、コナラ、クヌギ、ゴマギなど。ゴマギは河川敷などに生息しますが、近年は減少傾向で準絶滅危惧種になっています。草本はノウルシ、ハンゲショウ、タコノアシ、ミクリなど。鳥類は広大な河川域を舞うタカ類、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウなど。水辺のカモ類、カイツブリ、カワセミ、セッカなど。哺乳類では希少なカヤネズミ、イタチなど。

開園から 20 年ほどになり、変化も現れています。川の流路からは分断されているので、次第に乾燥化してきて、植生が変化している。外来種（オオブタクサ、セイタカアワダチソウ）が増えてきた。2019 年の台風で全域が浸水し、木道が一部流失したなどの被害。沼の対岸にあるハチクが花を付け、全枯れしたなど。

このビオトープの保全・管理はパートナーシップ型のボランティア活動で支えられています。荒川上流事務所が事務局となり、市民団体、環境 NGO、専門家、地元自治会などで協議しながら進めているそうです。個人でも参加できますのでお問い合わせください。（荒川上流河川事務所 Tel.049-220-0145 河川環境課）　（賀登環）

木道

6/29 にかわごえ環境ネット会員が訪れる

そのときのコムラサキ

【コラム】川越の「宝」をたずねて（16）仙芳仙人塚・本地堂瑠璃薬師殿跡

仙芳仙人塚入口

仙芳仙人塚

本地堂瑠璃薬師殿跡

コラム“川越の「宝」をたずねて”は、かわごえカフェ 2019 のテーマ､｢川越(と周辺地域)の宝を掘りおこそう」で参加者のみなさんと作成した“川越のお宝マップ”の地点を紹介していくコラムです。

今月のお宝紹介は｢仙芳仙人塚・本地堂瑠璃薬師殿跡」

喜多院のすぐ近くの路地奥に佇んでいるのが仙芳仙人塚です｡仙芳仙人(せんぽうせんにん)は、その故事によると、まだ川越周辺が海に面した入江だった大昔に、法力によって仙波の海水を退け大地に変え、この地に尊像を安置したと伝えられています。のちに、喜多院の前身である無量寿寺と名付けられました。

仙芳仙人と竜神の伝説が残る龍池弁財天もこの仙芳仙人塚の近くにあり、歴史の実証は難しくてもその云い伝えがあるということが、この川越の誇りに感じます。

さて、この仙芳仙人塚の隣地には、かつて喜多院の本地堂瑠璃薬師殿がありました。今は、宅地化されていますが、仙芳仙人塚入口案内の横に「本地堂瑠璃薬師殿跡址」が建てられています。

本地堂瑠璃薬師殿では、徳川家康の亡き後、遺骨を久能山から日光に至る道中に川越の喜多院に寄り、天海僧正が 4 日間法要をあげた場所です。この本地堂瑠璃薬師殿は明治維新後に東京上野にある寛永寺に移築されており、今でも東京上野の寛永寺の本堂（根本中堂）としてその姿を観ることができます。この移築には川越から上野まで新河岸川舟運を利用しており、川越と東京の縁の深さを感じますね。

仙芳仙人塚・本地堂瑠璃薬師殿跡へのアクセス

川越市小仙波町 1-18-10 地先
西武新宿線「本川越駅」より徒歩 14 分
東武東上線「川越市駅」より徒歩 20 分
東武東上線・JR「川越駅」東口より徒歩 21 分
また、小江戸名所めぐりバス「喜多院前」・小江戸巡回バス「喜多院」バス停より 1～2 分

（飯島希）

川越の「宝」全データの KML ファイル（ダウンロード）

仙芳仙人塚周辺の川越の「宝」マップ（国土地理院の電子地形図（タイル）に地点を追記して掲載）

【報告】かわごえ環境ネットの活動報告

「水上公園生き物観察会」報告

自然環境部会

バッタが逃げた！

さあ、いっぱい見つけるぞ

木の幹に何かいるよ

地面を熊手で掘る

虫を追いかけて

みなさま、たいへんお疲れ様でした

日時：2020 年 9 月 20 日（日）9:30-12:00

場所：川越水上公園

参加者：応募参加者 22 名、かわごえ環境ネットスタッフ 8 名、川越市職員 6 名

講師：谷津弘子氏（NPO「武蔵丘陵森林公園の自然を考える会」代表）、釣巻岳人氏（埼玉昆虫談話会）

野外のイベントはいつも天候に悩まされます。猛暑の 8 月が終わり、9 月になると今度は台風や長雨です。当日もギリギリまで雨がありましたが、明け方止みましたので実施できました。定刻には水上公園の大屋根の下に次々と親子連れの参加者が網や虫かごをもって、姿をみせました。

この観察会は環境政策課との共催で、生き物調査員の募集も兼ねています。課長の挨拶や講師の紹介の後、2 グループに分かれて河畔林に入ります。感染症対策のため参加者も例年より少なく、講師も二人お願いして、グループが密にならないよう万全の体制です。河畔林は昨年の台風で冠水し、その後手が入れられていないので小枝がからんでいたり、雑草が伸び放題の所もあったりします。でもこれがけっこう生き物には居心地がいいのでしょう。チョウやバッタ類が飛んでいます。

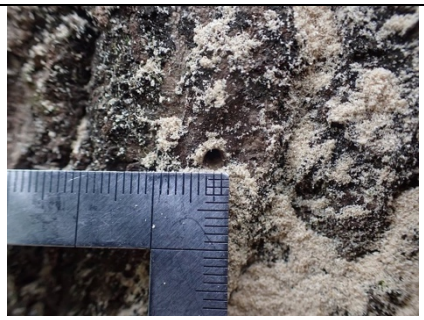
この日の参加者は、かなり虫に親しんでいるお子さんたちと見え、小 3 の女の子が網を振って、走る、走る…ついにアゲハチョウを捕まえました。他の男の子もチョウやトンボ、バッタを走り回ってゲットです。講師の谷津さんが虫メガネでよく見て、「これはクルマバッタモドキかな」などと会話しています。このように夢中で虫を追いかけている風景は、我々シニア世代にもあったような気がします。そのうち、雨が降り出しましたので、少し早いですが終了となりました。釣巻講師のグループはためになるお話がたくさん聞けたようです。

このたびは、親子連れの参加者が多かったので植物にはあまり視線がいきませんでしたが、なかなかどうして、この川越水上公園は植物に関しても貴重なものが多くあります。散策にはとてもよいところです。　（賀登環）

【報告】会員の活動

川越市初「ナラ枯れ」感染木発生

①根元に多量のフラス（木くず）



②幹に 2mm 前後の丸い穴

③枝の葉がしおれて枯れている

2020 年 8 月 19 日に、（仮称）川越市森林公園計画地内で異様なコナラを発見しました。

ひょっとしたら「ナラ枯れ」かな？

①根元に多量のフラス（木くず）がある。

②幹に 2mm 前後の丸い穴が散見される。

③見上げると枝の葉がしおれて枯れている。

8 月 23 日に、上記フラスの中に体長 5 ㎜にも満たない虫を発見し、川越農林振興センターに問い合わせました。「カシノナガキクイムシ（略称：カシナガ）」に間違いないとのことです。川越市内初の「ナラ枯れ」感染木の発見となりました。

以降、計画地内を探し回り、9 月 20 日現在 79 本の「ナラ枯れ」の疑いのあるコナラが見つかっています。

そもそも「ナラ枯れ」とは、通称「ナラ菌」という糸状菌（カビの仲間）が、コナラの樹幹内でまん延し、導管（通水管）を詰まらせ木を枯らす「木の感染病」です。このナラ菌を背中に背負い木から木へ運ぶのが「カシナガ」です。体長 5mm もない虫ですが、何百何千という集団でコナラの木に穿入し、1 か月もたたないうちに枯らしてしまう「ナラ枯れ」を流行させる張本人です。

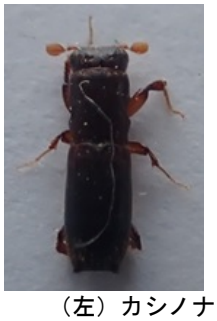
カシナガの恐ろしいところは、今年コナラに穿孔し枯らしたカシナガが、次の年に数 10 頭以上の子供のカシナガを育て、それぞれが「ナラ菌」を背負って飛び出し、付近の健全なコナラに穿孔して、今年の数 10 倍以上のコナラに「ナラ枯れ」の感染を拡大させることです。

「ナラ枯れ」の感染拡大防止には、今年感染したコナラを来年の 5 月までに、焼却やチップ化などを行い、カシナガを撲滅させることが大切です。

そのため、今年中に「ナラ枯れ」の疑いのあるコナラを探し、埼玉県川越農林振興センター林業部（042-973-5620）まで連絡をお願いいたします。

そもそもカシナガは、日本の固有種で昔から人と共に暮らしてきましたが、1980 年代から「ナラ枯れ」が目立つようになりました。ちょうど燃料としての薪炭の需要が減り、里山の雑木林の伐採がされなくなり、高齢木が多くなるのと時期が重なります。カシナガは、大口径の高齢なコナラを好むようです。

昔のように、頻繁に木を伐採し、若々しい森を維持すればいいのですが、現状の高木・老齢林を今後どのように手入れをしていくかみんなで考えたいところです。　　（山中和郎）



（左）カシノナガキクイムシ（略称：カシナガ）
（右）このようなコナラの雑木林がナラ枯れの温床になるとは皮肉な話です。ナラ枯れ防止を徹底し、この素晴らしい雑木林を次世代に遺したいものです。

（注）「ナラ枯れ」は正式名称を「ブナ科樹木萎凋病」と言い、コナラをはじめ、ミズナラ、クヌギ、ウバメガシ、アラカシ、スダジイやクリなどブナ科の樹木に被害が見られます。

無農薬田んぼで思うこと

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

ほぼ 10 年間休耕田だったという笠幡の田んぼを今年開墾して復活させたかわごえ里山の若き会員がいる。高梨農園やかわごえ里山イニシアチブも協力しての初めてのお米作りだったが、ほぼ 1 人で頑張って栽培し、その収穫量が 1.5 反（約 500 坪）で 8.5 俵（510 ㎏）との知らせを聞いた。なんと 1 反当たり 5.5 俵（330kg）である。しかも、成長途中の稲を見に行ったが雑草がほとんど見当たらない。農薬も化学肥料も一切使っていない。収穫を手伝ったベテラン農家の方に「肥料やりすぎだよ！」と言われ「無肥料ですよ」と言ったらびっくりしていたらしい。

通常､慣行農法で農薬や化学肥料を使う場合、6 俵（300kg）からせいぜい 7 俵（420kg）である。かわごえ里山の田んぼでは、緑肥としてストロベリーキャンドルを使うが、これまで 1 反当たり 5.5 俵が最大で、平均 4.5 俵である。ほぼ 10 年間耕作されなかった田んぼということを考えると、いきなり 5.5 俵とは驚異的な数字である、と共に自然回復力というか土壌の治癒力に感銘を受けた。

こういう事実を見ると、人間の都合で使う農薬や化学肥料は何なのだろうと思う。

昨年開催した印鑰智哉（いんやくともや）氏の「いのちを守る種子（たね）の話～食、健康、環境とのつながりを考える～」の講演会の話を思い出した（本紙 2019 年 9 月号に講演内容投稿）。

その中で「地球は微生物の星として生まれ、微生物と植物との共生で土壌が作られ生命が生存できます。植物の周辺に集まる微生物は、植物の根の周りに根と似た根っこ（菌根菌糸）を作り、病原菌から植物を守ります。土壌は、最大の炭素の貯蔵庫で、大量の炭素を吸収できます。化学肥料を投入することで、植物は土中に炭水化物を放出しなくなり、土中の微生物の活動が不活性化し、共生関係は衰えます。植物は病虫害に弱くなり、土壌は水を保てなくなり、土壌が流出しやすくなります。」

まさしくこのことを証明するようなできごとであった。何はともあれ「おめでとう」。

（増田純一）

2019 年秋、開墾直後の様子

2020 年 6 月上旬、田植え

2020 年 9 月、稲刈り

【報告】専門委員会

理事会・事業運営委員会

9 月 16 日（水）9:00-10:00 に第 5 回事業運営委員会、10:00-12:00 に理事会を開催しました。両者は関連しているので、合わせて主要な事項を報告します。

①2 月 27 日（土）に開催される「第 19 回かわごえ環境フォーラム」について､「環境活動報告集への投稿・発表者募集」を会員に本紙 10 月号の同封資料として送付します。なお、今回より電子版の環境活動報告集を発行し、ホームページで公開することにしました。

当日は、午前に会員等の環境活動報告を実施し、午後に設立 20 周年記念シンポジウムを行うことしました。具体的な内容は継続審議となりました。

民間団体会員、事業者会員への協賛依頼について、本紙 10 月号に同封するとともに、理事で一部事業者への訪問を実施します。ご協力をお願いいたします。

②10 月 4 日（日）・11 日（日）に実施する「2020 アースデイ川越 in 昭和の街」でのオンラインワークショップ「①みつけてみよう!!みんなのおうちからつながる世界」「②「川越の自然」バーチャルツアー」の実施内容を最終検討しました。なお、11 日の開催に伴い、本紙でも改めて参加を周知いたします。

③設立 20 周年記念出版について、賀登理事より、サイサン環境保全基金より助成金 50 万円の決定が下りたとの報告がありました。「川越の自然（新訂版）」は、3000 部発行で、残りの資金調達については継続審議としました。

④秋のクリーン活動について、事業の実施方法と内容の確認を行いました。本紙 10 月号にも参加おしらせがあります。ご参加ください。

⑤11 月 7 日（土）に開催される環境講演会のちらしが完成し、本紙に同封しました。会場とオンラインの同時開催予定です。

⑥「新型コロナウイルス感染拡大防止に対するかわごえ環境ネットの行動方針」を改訂し、不特定多数の人が集合して実施する活動について、会員対象の屋内での活動と同様の対応（3 密のを避けて実施形態を十分検討して実施可能）としました。

⑦プロジェクト「越えていこう、川越」（小江戸川越観光協会など主催）について、かわごえ環境ネットのポスターを 2 枚作成することにしました。内容は継続審議としました。

⑧個人会員 1 名が入会し、9 月 16 日現在の会員数は、個人 140、民間団体 23、事業者 26、行政 1 の合計 190 会員となりました。

（小瀬博之）

社会環境部会

気候変動について思うこと（カテゴライズVer）

価値の変化

- 温暖化が進んでいくと、これからの子供たちがかわいそう。
- 地球温暖化への対処がこのままであると、いつの日にか、みんなゆでがえるになるのでは、との危惧がある。
- 環境問題がビジネスの方面から注目されているのはとてもよい動き。
- 企業の生産から消費までのサプライチェーンの各プロセスで環境についての意識が芽生えているのはいいこと。
- 地球温暖化を何とかしていこうという人たちと、無関心な人たちで二極化が進んでいる。
- 未来に対する危機感が大事。
- 地球温暖化という用語よりも、気候変動（Climate Change）という用語の方が、台風や大雨など気象に関わる変化を捉えることができる。
- 近年の温暖化や異常気象をみると、「気候変動」よりも「気候危機（Climate Crisis）」という用語の方が感覚に合う。
- 経済成長率で物事を図る考え方を変えていかなくてはならない。
- もっと木を植え、緑地を増やしていきたい。
- 環境問題に取り組んでいる人たちは、かっこいい！クールな人たちが温暖化に対処していくことで、地球をクールにしていくことに期待。

日常の変化

- 日常的な電気や水の使い方から、地球温暖化へ結びついているのだという意識を広めていきたい。想像力が大切。
- 近所の人たちは、「地球温暖化って問題よね、でも具体的に何をしたらいいかわからない」という人がたくさんいる。
- 地域活動が減り、地域の課題に関わる機会が減っている。
- CO_2を排出しない家づくりのテクノロジーの進歩にも大いに期待している。電気を自給自足する時代。
- 数年前の温度測定調査では、32℃で高いと感じていたが、今は当たり前。暑い日に38℃近くまで気温が上昇し、温暖化を実感する。
- 畑の世話をしていると気候変化に敏感になる。
- 気候の変化に体を慣らしていくことも大事。

都市の変化

- 雨量が多くなり、今までの川とは大違い。
- 空き家や使われなくなった農地を緑地化していこうという動きがあり、今後の展開に期待。
- 建物の雨量の基準を見直さなくてはいけない。
- 川越市内の森がどんどんなくなっている。
- 高台や堤防をつくることで治水を図るのではなく、コンパクトシティを進め、人が住む地域と住まない地域の線引きが必要になる。
- 川越のハザードマップをみると、市内面積の6割近くで浸水が想定される区域となっている。
- 気候変動への取り組みは、省エネだけでなく、緑化の促進、まちづくり、防災、都市計画などより包括的な視点が大切になる。
- 農家は気候変動の影響を一番に受けている。

地球の変化

- 北極の氷が溶けているのはとても心配。
- スウェーデンの若き環境活動家であるグレタ・トゥーンベリさんがメディアでも取り上げられ、若い人たちの環境問題への関心が高まっているのはよいこと。
- 温暖化の影響は世界中で広がっている。中国の三峡ダムの問題は深刻。ダムによる治水だけでなく、新たな選択肢も必要。小畔水鳥の郷公園の調節池のような場所が大事になるだろう。
- 川から海、そして大気へとつながっているという意識をするのが大事になる。
- 海水温度の上昇はとても気になっている。

9 月の社会環境部会の例会は 11 日（金）福田ビル 3 階にて 11 名の参加で開催されました。今回も新型コロナウイルスの感染予防のため、マスクを着用し、座席の間隔をあけ、換気をしながらの実施となりました。

会のはじめには、前回の例会において「地球温暖化について思うこと」というテーマのもと、ディスカッションし、得られた各意見を、価値観の変化・日常の変化・都市の変化・地球の変化に分類し、それぞれの意見を客観的にみてみようという試みをしました。タイトルについては、地球温暖化よりも気候変動の方が、近年の異常気象等の問題も捉えることができるということで、タイトルの変更をしました。1 時間の意見交換の後は、10 月 4 日（日）開催予定の「アースデイ川越 in 昭和の街 2020」（オンライン開催）、10 月 17 日（土）開催予定の「秋のクリーン活動」、11 月 7 日（土）開催予定の「環境講演会」に関して、企画概要及び企画内容について話し合いを行いました。また、例年秋に実施している環境施設視察研修会については、市内のまちあるきをしていこうという案が出ました。

夏の暑さも落ち着き、やっと秋の涼しさを感じる季節になりましたが、引き続き、感染防止策と安全面に配慮しながら、活動をしていきたいと思います。

（社会環境部会代表　増田知久）

自然環境部会

9 月例会は 11 日（金）福田ビル 3 階にて 9 名の参加で開催されました。

1. 活動報告

①「（仮称）川越市森林公園」計画地定例活動
8 月は活動休止　9 月 14 日から再開
②池辺公園定例活動　8 月 11 日（火）　7 名参加　キツネのカミソリの開花数カウント 300 ほど　ウバユリ開花数 32　ハグロソウ（準絶滅危惧種）が一面に開花　9 月 8 日（火）9 名参加
③生き物調査　「下赤坂ふるさとの緑の景観地」7 月 20 日（月）　12 名参加　講師 : 牧野彰吾氏
このエリアに川越市の所有地があり、そこを中心に調査した。雑木林特有の植生が見られ、植物は 50 種ほど、昆虫などが 10 種。
④社寺林の観察会（編集委員会関連）喜多院・中院　7 月 28 日（火）　9 名参加
⑤植物調査のまとめと勉強会　8 月 28 日（金）
南公民館　11 名参加

2. 協議事項

①アースデイのオンライン出展『「川越の自然」バーチャルツアー』についての検討
②「（仮称）川越市森林公園」計画地において、ナラ枯れのコナラが多数発生している。その現状・対策についての情報交換

（自然環境部会代表　賀登環）

予告の掲載に際して重要なおしらせ

新型コロナウイルスの感染状況により行事開催の変更・延期・中止等が発生しています。かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページ（https://kawagoekankyo.net）でお伝えします。会員団体等の行事についても、情報が入ればホームページに掲載いたしますが、参加しようとする前に問い合わせ先にご確認ください。

◆かわごえ環境ネット会員募集　会員を随時募集しています。本会は、川越の環境をよくしたいと活動する個人・団体（民間団体・事業者）が集う団体です。毎月本紙をお送りするなどの特典があります。年会費は個人会員 1,000 円、団体会員 2,000 円。詳細は、かわごえ環境ネット事務局か Web サイト（https://kawagoekankyo.net）へ。

【予告】かわごえ環境ネットのおしらせ・主催行事・出展行事

【トピック①】「アースデイ川越 in 昭和の街 2020」10 月 11 日（日）もオンラインワークショップを実施

【かわごえ環境ネットのプログラム】

かわごえ環境ネットでは、10 月 4 日（日）・11 日（日）にオンライン（インターネット）での視聴者参加型プログラムを開催します。小学生の親子での参加を想定して企画していますが、どなたでも参加いただけます。川越市内、市外ももちろん問いません。

10 月 4 日（日）に実施したオンラインワークショップの様子を YouTube で公開しています。11 日（日）同じプログラムですが、ひとりひとりの生活によって内容はさまざま、また、クイズは異なった内容のものを出題します。ぜひ双方向のやり取りでご参加ください。

10 月 11 日（日）のプログラム

10:30-11:15②「川越の自然」バーチャルツアー
11:30-12:15①みつけてみよう!!みんなのおうちからつながる世界
13:00-13:45②「川越の自然」バーチャルツアー
14:00-14:45①みつけてみよう!!みんなのおうちからつながる世界

「川越の自然」バーチャルツアーでは、クイズを交えながら川越市内の自然や生きもの動画を紹介します。衝撃的な映像・画像が盛りだくさん（かも）。

「みつけてみよう!!みんなのおうちからつながる世界」では、家にあるものの原産地・生産地を調べて世界とのつながりを考えます。食品、衣類、電気製品など手元にあるものを探してみましょう。

参加方法

パソコンの場合は「かわごえ環境ネット」ホームページに掲載しているリンクからアクセスした方がスムーズです。最新情報も掲載します。

かわごえ環境ネット「アースデイ」
https://kawagoekankyo.net/earthday

A. 双方向のオンラインワークショップに参加したい方

双方向のオンラインワークショップに参加したい方は、Webex ミーティングでの参加となります。各回の開催 10 分前から開始時間までに下記のミーティングリンク（URL）にアクセスしてください（パソコンでも）。途中からの飛び入り参加も可能です。

A. 双方向イベントに参加したい方（Webex）
https://bit.ly/32n2s9V

B. 視聴だけしたい方（双方向対話不可）

とりあえず様子を見てみたいという方は、同時中継を YouTube ライブでご覧いただけます。人数が少なければ途中からでも Webex ミーティングに入っていただいて参加していただいてけっこうです。

B.視聴だけしたい方（10 月 11 日の YouTube ライブ）
https://youtu.be/3y8EK2TZoCQ

全体概要

1999 年から毎年秋に開催されている 22 回目のアースデイ・イン・川越となる「2020 アースデイ川越 in 昭和の街」。SDGs をテーマの中心に据えて 3 回目となる今年は、現在の社会状況をふまえてオンラインを中心とした開催となりま

す。2030 年の世界共通の目標である「SDGs（持続可能な開発目標）」を身近に考え、実施してもらえるイベントです。

参加団体

★尚美学園大学檜山研究室（10 月 18 日 14:50-17:10 にオンラインライブを YouTube 上で実施、活動レポート掲載）、★かわごえ環境ネット（詳細は別記）、★芝浦工業大学 SDGs 学生委員会−綾いと−（［10 月 11 日にオンラインワークショップ］①オンラインかるた〜かるたで SDGs を学ぼう、②自分でつくる！せかいで一つだけのおさいふ）、★埼玉県水環境課（啓発動画の掲載）★芝浦工業大学 「環境フィールド実習」授業×性の自分らしさを考える自由の会［自由学園有志］（［録画］川越のしごと紹介：川越市内の企業や商店などの SDGs の取り組みについて動画で紹介）、★ボーイスカウト川越協議会×生活クラブ生協川越支部（［録画］環境にやさしいこねこね石けんづくり！）、★ボーイスカウト川越協議会（［録画］ボーイスカウト活動と SDGs について紹介）、★川越ワイズメンズクラブ（［録画］活動紹介）、★埼玉 YMCA 川越センター（［録画］活動紹介）、★川越昭和の街の会（期間中、高校生以下へ『子どものための SDGs』ハンドブック配布など）

内容は変更の可能性があります。詳細は「アースデイ川越 in 昭和の街」ホームページ（http://showanomachi.net/earthday）、Twitter、Facebook ページをご覧ください。

「アースデイ川越 in 昭和の街」Web サイト

ホームページ　Twitter　Facebook ページ

【トピック②】「秋のクリーン活動」10 月 17 日（土）開催　参加者募集

秋のクリーン活動の参加者を募集いたします。本年はコロナウイルス感染症の拡大の影響で「川越まつり」が中止に、第 5 回川越まつり会場クリーン活動は、「秋のクリーン活動」「来年の川越まつりに備えて街をきれいに」として実施することになりました。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

■活動の概要

・開催日時：10 月 17 日（土）10:00-11:45

・集合場所：本川越駅前交番（川越市新富町 1-22）付近

・活動内容：本川越駅より蔵造りを中心とした川越の旧市街のクリーン活動、中央公民館で集めたごみを分別、蓮馨寺に移動し川越銘菓を楽しみ解散

・申込先：　渡辺　電話・Fax. 049-242-4322
菊地　携帯 080-5546-2362
E-mail: kikums@beige.ocn.ne.jp

・その他：クリーン活動用の道具を用意しております。

（菊地三生）

【トピック③】環境講演会「プラスチックごみはなぜ減らないのか～リサイクルと減量方法～」（11 月 7 日）

社会環境部会

海洋プラスチック汚染は、地球規模の問題となっています。昨年 6 月に大阪市で開かれた G20 サミットの首脳宣言では、2050 年までに新たな海洋汚染をゼロにすることをめざす「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が明記されました。こうした海洋マイクロプラスチックに含まれる化学物質は、食物連鎖によって人間に戻ってくる可能性も懸念されます。日本でも、海洋プラスチック汚染防止のため、廃プラ削減の一環としてレジ袋の有料化が 7 月 1 日より始まりました。一方、新型コロナウイルス感染対策として、テイクアウトやデリバリー利用の推奨により、プラスチックゴミが増大しているという新たな課題も出てきています。

こうした環境下で、プラスチックごみ等を削減するには、我々は何をすべきか、具体的にどのように行動したらよいのかを本講演会で学びましょう。

・日時：11 月 7 日（土）14:00-16:00

・場所：ウェスタ川越 2 階（市民活動・生涯学習施設）活動室 1（川越市新宿町 1-17-17）

・講師：浅倉孝郎氏（埼玉県環境アドバイザー）

・申込方法：川越市環境政策課（Tel.049-224-5866）で受付中

＊この行事は、オンラインで同時配信予定です。詳しくはかわごえ環境ネットホームページ及び本紙 11 月号でお伝えします。

【トピック④】「第 19 回かわごえ環境フォーラム」環境活動報告投稿・発表者募集

2021 年 2 月 27 日（土曜日）9:30-16:30 にウェスタ川越（市民活動・生涯学習施設 会議室 1・2）を会場として、かわごえ環境ネット設立 20 周年記念事業のメインイベント「第 19 回 かわごえ環境フォーラム」（環境活動報告会と設立 20 周年記念シンポジウム）を開催します。

この行事によって、各々の環境活動と役割を相互に理解し、川越市の望ましい環境像実現のための取組がいっそう活発になることを期待します。開催にあたって、環境活動をされている個人・団体からの環境活動報告を広く募集します。個人・団体の年間の活動報告を冊子に集積して情報共有を図ります。みなさまの積極的な応募をお待ちしています。

投稿・発表申込期限は 11 月 16 日（月）、レポート投稿期限は 12 月 14 日（月）です。

募集要項は、かわごえ環境フォーラムホームページ（https://forum.kawagoekankyo.net）をご覧ください。

かわごえ環境フォーラム（https://forum.kawagoekankyo.net）

＊新型コロナウイルス感染拡大に伴う社会状況により、オンライン開催を含め、さまざまな開催方法を想定して計画しています。

【トピック⑤】「第 19 回かわごえ環境フォーラム」協賛のお願い

本会や会員の本年度の環境活動報告をまとめた「かわごえ環境活動報告集」を「第 19 回かわごえ環境フォーラム」開催に合わせて発行します。本報告集は毎回、費用の一部を本会会員の協賛金でまかなっております。ご協賛をぜひお願いいたします。ご協賛いただいた企業・団体は、環境活動報告集に協賛広告を、また、案内ちらしに協賛者の名前を掲載いたします。

本会会員事業者には、10 月の郵送資料においてご案内を同封しております。会員外の事業者等からも協賛を募集します。詳しくは、かわごえ環境ネット事務局（川越市環境部環境政策課環境推進担当、Tel.049-224-5866、E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）までお問い合わせください。

自然環境部会主催事業

★「（仮称）川越市森林公園」計画地 植物調査・保全活動（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時: 10 月 12 日･26 日, 11 月 9 日･23 日（月）9:30-12:30

集合：川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

★池辺公園定例活動（毎月第 2 火曜日、変更の場合もあります）

日時：10 月 13 日・11 月 10 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：賀登（Tel.049-234-9366）

会合

◆広報委員会（2020 年 10 月度）

日時：10 月 7 日（水）9:00-9:30

オンラインミーティング（委員には別途案内）

＊次回は 11 月 4 日（水）9:00-9:30 オンラインミーティング

●社会環境部会（2020 年 10 月度）

日時：10 月 9 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

＊次回は 11 月 13 日（金）13:00-15:00 同所

＊会員はどなたでも参加できます。

●自然環境部会（2020 年 9 月度）

日時：10 月 9 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊次回は 11 月 13 日（金）15:00-17:00 同所

＊会員はどなたでも参加できます。

◆事業運営委員会（2020 年度第 6 回）

日時：10 月 14 日（水）9:00-10:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊次回は 11 月 18 日（水）9:00-10:00 同所

◆理事会（2020 年度第 7 回）

日時：10 月 14 日（水）10:00-12:00

場所：福田ビル 3 階会議室

次回は 11 月 18 日（水）10:00-12:00 同所

◆設立 20 周年記念事業実行委員会出版専門委員会（第 11 回）

日時：10 月 21 日（水）13:00-15:00

場所：川越南文化会館（ジョイフル）

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: hatsukarinosato@googlegroups.com, Tel.070-5599-2623）

ホームページ http://kawagoesatoyama.ciao.jp/

当会では、生物多様性豊かな田んぼの保全を目的に、みんなで連携して環境にやさしいお米

作りをしながら田園風景の保全や地域づくりを行っています。入会は随時受け付けております。hatsukarinosato@googlegroups.com にお問い合わせください。

Web サイト　Facebook ページ　Twitter

◎マコモタケ収穫＆しめ縄づくり

日時：10 月 25 日（日）10:00-15:00

場所：かわごえ里山拠点（川越市福田 339）

参加費：会員 3,000 円

会員外 4,000 円～5,000 円を予定

午前にマコモタケを収穫し、午後マコモのしめ縄づくり体験と福田の赤城神社のしめ縄づくりをする予定です。

11 月中旬～12 月上旬に同様のイベントで川越八幡宮のしめ縄づくりを企画しますが、詳細は未定です。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel&Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 金曜日

日時：10 月 16 日（金），11 月 3 日（火・祝）・20 日（金）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：10 月 11 日・11 月 8 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ、解散。

③第 4 土曜日

日時：10 月 24 日・11 月 28 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9:00 より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田（090-2521-5770）へご連絡ください。

①10 月 25 日（日）9:00-11:00 新河岸川上流の八幡橋起点集合。観音下橋まで川中と護岸清掃。八幡橋横で収集分別。解散。

②11 月 22 日（日）9:00-11:00 新河岸川中流域。杉下橋横集合。琵琶橋までの観察とごみ拾い。オアシス裏に集めて分別・解散。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ・申し込み：賀登環（Tel. 049-234-9366）

当会では、小畔川の八幡橋下流域の定点調査を中心に魚類や水生昆虫などの調査を続けています。いつも何かしら発見があり面白いです。ウェダーや網などは当会で用意いたします。

◎魚類調査（小畔川鎌取橋上流）

日時：11 月 22 日（日）10:00-12:00

ガサガサや投網で魚類調査をします。

松岡壽賀子（社会環境部会）

問い合わせ：高階南公民館（Tel.049-245-3581）

◎かんきょうサロン（健康と環境とお財布にやさしい生活術の話）

会場：高階南公民館 1 階（川越市藤原町 23-7）

参加費：無料

①10 月 26 日（月）10:00-12:00

持ち物：リフォームしたいもの、裁縫道具

使わなくなったワイシャツやセーターをブラウスやカーディガンなどに作り変えて再利用しています。

②11 月 18 日（水）10:00-12:00
③12 月 8 日（火）10:00-12:00
持ち物：直近 2〜3 か月分の電気・ガス・水道の料金票

電気代や水道料金の節約についての話をしています。

東洋大学小瀬研究室（川越キャンパスこもれびの森・里山支援隊）
問い合わせ：小瀬博之（E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532）
こもれびの森・里山支援隊 http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/

【おことわり】東洋大学では「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東洋大学行動指針」を定めており、10 月 6 日現在も「レベル 2」として、対面での課外活動は原則活動禁止となっています。つきましては、秋学期中は当面活動を休止します。

＊緊急事態宣言解除後における本学の基本方針
https://www.toyo.ac.jp/ja-JP/news/top/202006051830/

＊Web サイト（組織概要・東洋大学「こもれびの森」植物図鑑ダウンロードなど）
https://www.toyo.ac.jp/social-partnership/satoyama/

＊Facebook ページ（最新の活動報告）
https://www.facebook.com/komorebisatoyama

＊Twitter（中止連絡などの緊急告知）
https://twitter.com/toyokomorebi

Web サイト　Facebook ページ　Twitter

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部
問い合わせ：内野（Tel.049-222-1731）、当日の携帯電話連絡（Tel.090-7003-8617）

◎伊佐沼でバードウオッチング
（毎月第 2 日曜日、雨天中止）
集合：10:00 伊佐沼西岸蓮見橋近くのあずまや
持ち物：筆記用具・図鑑・双眼鏡・飲み物
参加費：一般 300 円、高校生以下 100 円（保険代・資料代）

①10 月 11 日（日）10:00-12:00
水の少なくなった沼で、サギは餌の小魚を捕り、干潟でシギやチドリが餌を探す様子を観察します。

②11 月 8 日（日）10:00-12:00
沼にコガモ、ハシビロガモ、ヒドリガモが、公園にジョウビタキ､ツグミがやってきました。みんなで探してみましょう。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受け付けています

2020 年 11 月号（No.169, 11 月 2 日発行予定）の掲載原稿は、10 月 15 日（木）締切です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要です。未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●入稿に際してのお願い

編集をより効率的に進められるよう、入稿の際に次の事項にご協力いただければ幸いです。

①所定のテンプレートに入力を

Word 形式のテンプレートを用意しています。そちらを使っていただけると効率的に編集ができます。入用の方は広報委員会にご連絡ください（koho@kawagoekankyo.net）。

②文字の入力方法を統一的に

英数字はすべて半角で入力をお願いします。

「()」「:」は原則として全角を用いていますが、英文や時刻表示の「:」は半角を用いています。

③図表や写真にはタイトルをつけて

読者が状況を把握するのに役立ちます。

④画像は添付ファイルで提出を

長辺を「800 ピクセル」程度にサイズを小さくした上で、ファイルを別途添付して提出してください。Word に貼り付けずにタイトルがわかるようにしていただければレイアウトします。

⑤原稿の入稿期限（毎月 15 日）にご協力を

原稿が揃わないと効率よく作業できません。早期の発行にご協力ください。

●かわごえ環境ネット会員限定メールサービス

かわごえ環境ネット会員限定で、本紙並びに同封資料のメールでの送付（またはリンク）サービスを実施しています。

希望の方は、かわごえ環境ネット事務局（kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）にメールで件名を「かわごえ環境ネット会員メールサービス希望」として、会員氏名（団体名称）と送付を希望するメールアドレス（添付ファイルの最大容量は 5MB 以上を推奨）をおしらせください。同時に会員になられる方は、入会申込を同時にお願いいたします。

メールサービス受付

★かわごえ環境ネット Web サイト

会員に送付及び公民館等で配布している紙版は、モノクロの孔版印刷のために画像がつぶれてしまい、判別がつきにくい状況です。本会ホームページでは、バックナンバーを含めてカラーで本紙 PDF ファイルが見られます。鮮明な画像で本紙をお楽しみください。

https://kawagoekankyo.net

★かわごえ環境ネットソーシャルメディア

①Twitter

本会 Twitter（@kawagoekankyo）は、ブログの更新と連動してツイートします。Twitter にユーザー登録してぜひフォローしてください。

https://twitter.com/kawagoekankyo

②Facebook ページ

本会は、Facebook でも積極的に情報発信しています。かわごえ環境ネットからのおしらせだけでなく、イベント等の報告も逐次行っています。本紙で掲載されない速報もあります。Facebook に登録していなくてもご覧いただけますが、ぜひアカウント登録を行って「いいね！」してください。

https://www.facebook.com/kawagoekankyonet

〇おことわり

本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（10 月 7 日～12 月 5 日）

新型コロナウイルスの感染状況により行事開催の変更・延期・中止等が発生しています。かわごえ環境ネット主催の行事等において予定の変更がある場合には、情報が入り次第本会ホームページでお伝えします。会員団体等の行事は主催者にご確認ください。

日	月	火	水	木	金	土
★：会員内外対象の公開・出展イベント ●：会員全員が対象の部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください			10.7 ◆9:00 広報委員会	10.8	10.9 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	10.10
10.11 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング ★10:30 アースデイ川越 in 昭和の街オンラインワークショップ	10.12 ★9:30（仮称）川越市森林公園市画地植物調査・保全活動	10.13 ★9:00 池辺公園定例活動	10.14 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会	10.15 〇本紙 11 月号投稿期限	10.16 ◎13:30 まち美化啓発運動	10.17 ★10:00 秋のクリーン活動
10.18 ★アースデイ川越 in 昭和の街（10.4-）	10.19	10.20	10.21 ◆13:00 設立 20 周年記念出版委員会	10.22	10.23	10.24 ◎13:30 まち美化啓発運動
10.25 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:00 マコモタケ収穫＆しめ縄づくり	10.26 ★9:30（仮称）川越市森林公園市画地植物調査・保全活動 ◎10:00 かんきょうサロン	10.27	10.28	10.29	10.30	10.31
11.1	11.2	11.3 文化の日 ◎13:30 まち美化啓発運動	11.4 ◆9:00 広報委員会	11.5	11.6	11.7 ★14:00 環境講演会
11.8 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	11.9 ★9:30（仮称）川越市森林公園市画地植物調査・保全活動	11.10 ★9:00 池辺公園定例活動	11.11	11.12	11.13 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	11.14
11.15 〇本紙 12 月号投稿期限	11.16 〇環境活動報告申込期限	11.17	11.18 ◆9:00 事業運営委員会 ◆10:00 理事会 ◎10:00 かんきょうサロン	11.19	11.20 ◎13:30 まち美化啓発運動	11.21
11.22 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎10:00 魚類調査	11.23 勤労感謝の日 ★9:30（仮称）川越市森林公園市画地植物調査・保全活動	11.24	11.25	11.26	11.27	11.28 ◎13:30 まち美化啓発運動
11.29	11.30	12.1	12.2	12.3	12.4	12.5

発行日　2020 年 10 月 7 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　https://kawagoekankyo.net/